

善福寺川

「水鳥の棲む水辺」

創出事業基本方針

平成 21 年 11 月

杉並区都市整備部

目次

1章 事業の目的	1
2章 基本方針の位置づけ	2
3章 本事業への提言書	3
1) 提言書策定の経緯	3
2) 善福寺川の目標とする水辺環境	4
3) 事業の基本的取組みの視点	5
4章 基本方針策定に向けての課題	6
5章 基本方針	7
1) 基本方針の構成	7
2) 基本方針	8
3) 配慮指針	11
6章 事業推進の仕組みづくり	17
資料編	
資料1 善福寺川の概要	18
資料2 善福寺川で確認された植物	19
資料3 善福寺川で確認された鳥類	24
資料4 善福寺川で確認されたトンボ類	25
資料5 善福寺川で確認されたバッタ類	26
資料6 善福寺川で確認されたチョウ類	27
資料7 善福寺川で確認された魚類	28
資料8 善福寺川の水質	29
資料9 神田川水系整備計画概要図	32

1章 事業の目的

善福寺川は、杉並区のほぼ中央を北西から南東に流れる延長 10.5km の一級河川である。源を善福寺池に発し、中野区との区境で神田川に合流する、杉並の代表的な河川である。

善福寺川周辺では、昭和 20 年ごろから市街化が進んで浸水被害が川沿いで多発したことから、河川改修が進み、コンクリート護岸が多く見られるようになった。また、合流式下水道のため、降雨時には汚水の一部が河川へ越流し、雨水時の水質悪化の一因となっている。これらの影響により、かつて川沿いに見られた水田や湿地などの水辺環境やそこに見られた多様な動植物は、その多くが姿を消した。このように現在の善福寺川を取り巻く水辺環境は、必ずしも豊かで魅力あるものとはいえない。

本事業は、善福寺川において、水鳥に着目し、区民とともに多様な動植物が生息・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境を再生・創出することを目的として取り組むものである。



大きく蛇行した善福寺川の流路
杉並区みどりの実態調査（平成 20 年）より

2 章 基本方針の位置づけ

「善福寺川『水鳥の棲む水辺』創出事業基本方針」は、「杉並区まちづくり基本方針」の個別計画とし、「杉並区環境基本計画」「杉並区みどりの基本計画」「(仮称)杉並区景観計画」との整合を図りながら定める。

また、東京都の「神田川再生構想」及び今後策定される「(仮称)荒川水系神田川流域河川整備計画」「神田川河畔まちづくりの考え方」との整合を図る。

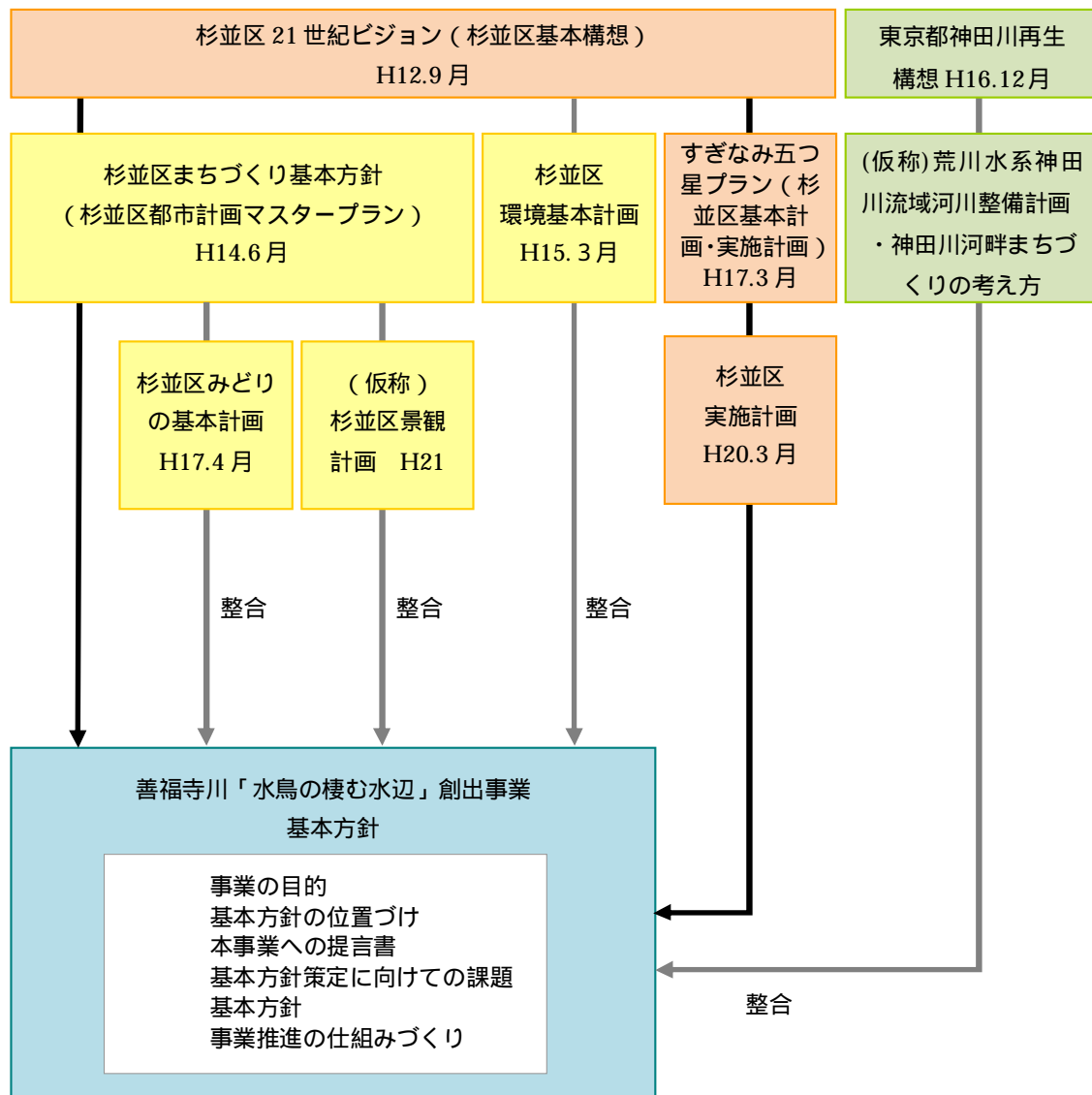


図 - 1 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業基本方針の位置づけ

3章 本事業への提言書

1) 提言書策定の経緯

平成20年度に「善福寺川『水鳥の棲む水辺』創出事業検討懇談会」を設置し、事業を進めるうえでの基本的な取組みの視点について提言書を取りまとめた。検討懇談会の委員名簿と検討内容を表-1、2に示した。

表-1 検討懇談会委員名簿

氏名		所属等
会長	土屋 十囀	前橋工科大学社会環境工学科教授
副会長	飯村 晃	千葉県環境研究センター 水質地質部 水質環境研究室
委員	竹下 信雄	杉並野鳥研究会代表
	須田 孫七	東京大学総合研究博物館協力研究員
	橋本 健一	千葉県立衛生短期大学生物学研究室
	佐々木 幹夫	西田小・杉二小講師
	鈴木 富雄	杉並環境カウンセラー協議会理事長
	山室 京子	環境カウンセラー みどりのボランティア杉並
	六車 貴美子	環境カウンセラー すぎなみ環境カエルくらぶ
	舩原 邦明	東京都建設局第三建設事務所工事第二課長
	櫻井 國男	東京都建設局東部公園緑地事務所事業推進課長
事務局		杉並区都市整備部建設課

表-2 検討懇談会の検討内容

回	年月日	内容
1	平成20年9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的と概要の確認 ・善福寺川の自然環境の現状把握
2	10月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察 ・現地視察の感想
3	10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回及び第2回検討懇談会の内容確認 ・事業の目標と基本方針の検討
4	11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回検討懇談会の内容確認 ・事業への提言(素案)
5	12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回検討懇談会の内容確認 ・事業への提言(案)

2) 善福寺川の目標とする水辺環境

提言書では、本事業の目的である「潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出」を受けて、善福寺川の目標とする水辺環境を4つの内容で示している。

善福寺川の目標とする水辺環境

- ・豊かな湧水に恵まれた美しい川の流れ
- ・多様な動植物が生息・生育する水辺
- ・区民が、身近に触れられ、潤いと安らぎを実感できる水辺
- ・川から公園・緑地、学校、社寺、団地などへ豊かな自然が広がる流域



3) 事業の基本的取組みの視点

提言書は、事業の基本的な取組みの視点として次の8つを示している。

視点 豊かできれいな流れをつくろう

善福寺川の安定した水量ときれいな水質を確保するため、地下水・湧水を保全すると共に、合流式下水道の改善に取り組む。

視点 みどりを増やそう

動植物の生息・生育環境の創出と区民の良好な生活環境づくりに資するため、善福寺川や周辺の公園・緑地、学校など公共施設と流域の団地や社寺など民有地の緑の保全と緑化を進める。

視点 多様な生物が棲む水辺環境をつくろう

多様な動植物が生育・生息できる、川の瀬や淵、ヨシ原、池、水田などの多様な水辺環境を善福寺川の河床や護岸、湧水地点、周辺の公園・緑地の池などを対象に保全・創出する。

視点 流域のネットワークをつくろう

生物の多様性を高め、川の自然環境向上につながる、善福寺川と周辺の公園・緑地や学校ビオトープなどの相互のネットワーク形成を図る。

視点 事業を知らせてみんなの関心を高めよう

区民一人一人の関心を高め、参加意欲を引き出すため、区民参加の勉強会や調査の実施、事業シンボルの活用など事業周知方法を充実するとともに、親水空間の整備などを進める。

視点 みんなで事業に取り組もう

善福寺川流域の広い範囲で事業を展開するため、小学生を始め、その保護者や多くの区民が参加する活動の展開や、既設のボランティア、NPO 団体等のネットワークづくりに取り組む。

視点 できることから始めて続けよう

河川改修や下水道改善などの中長期的事業を都と連携して進めつつ、河川管理の見直しや区民参加のソフト事業など短期に実施可能なことから取り組む。

視点 事業を見守り将来につなげよう

水鳥一斉調査などの定期的なモニタリングや、水辺環境に関する区民の満足度の定期的調査を実施して結果を検証し、事業に反映するPDCAサイクルを意識した仕組みづくりを行う。

4章 基本方針策定に向けての課題

善福寺川の自然環境の現況や懇談会からの提言、区民意見などから、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業の基本方針策定に向けた課題を整理した。

豊かな湧水に恵まれた美しい流れを取り戻す

善福寺川の水源は湧水や地下水の汲み上げ、千川上水からの導水で確保されているが、湧水の減少や合流式下水道からの雨天時越流などにより、水質の悪化などが問題となっている。湧水や地下水の保全・回復を図ると共に、合流式下水道の改善など水質改善に取り組む必要がある。

善福寺川周辺の動植物の生息・生育・繁殖環境の質を高める

水鳥一斉調査の結果に示されるように、善福寺川周辺は杉並区で最も自然豊かな地域の一つである。単純な護岸や河床構造、水辺植生の欠如などの改善と周辺地域の水と緑のネットワーク形成により、より多様な動植物が生息・生育・繁殖できる環境を創出することが重要である。

善福寺川に関心のある区民を増やし、区民との協働で取り組む

善福寺川について知らない区民が多い一方で、善福寺川の水辺再生・創出に携わりたいと考えている区民もまた多いことが、シンポジウム開催を通し明らかとなった。多くの区民が善福寺川に関心を持つよう普及啓発を進めるとともに、関心ある区民を積極的に活動へ取り込むため、多様な区民ニーズに応えるプログラムを構築する必要がある。

善福寺川に関わる取組みについて相互の連携を強化する

現在、善福寺川流域では、自然環境調査や自然回復の取組み、治水事業、周辺の公園・緑地整備、河川や公園・緑地の管理など行政主導の事業の他、区民による様々な活動が進められているが、それら相互の連携は十分図られていない。善福寺川に関する情報を共有し、相互の連携を図ることで、事業効果を高める必要がある。

5章 基本方針

1) 基本方針の構成

基本方針は、事業の目的、懇談会の提言等を踏まえて事業コンセプトを設定し、「3つの方針」と事業を進める際に配慮すべき「3つの指針」で構成する。

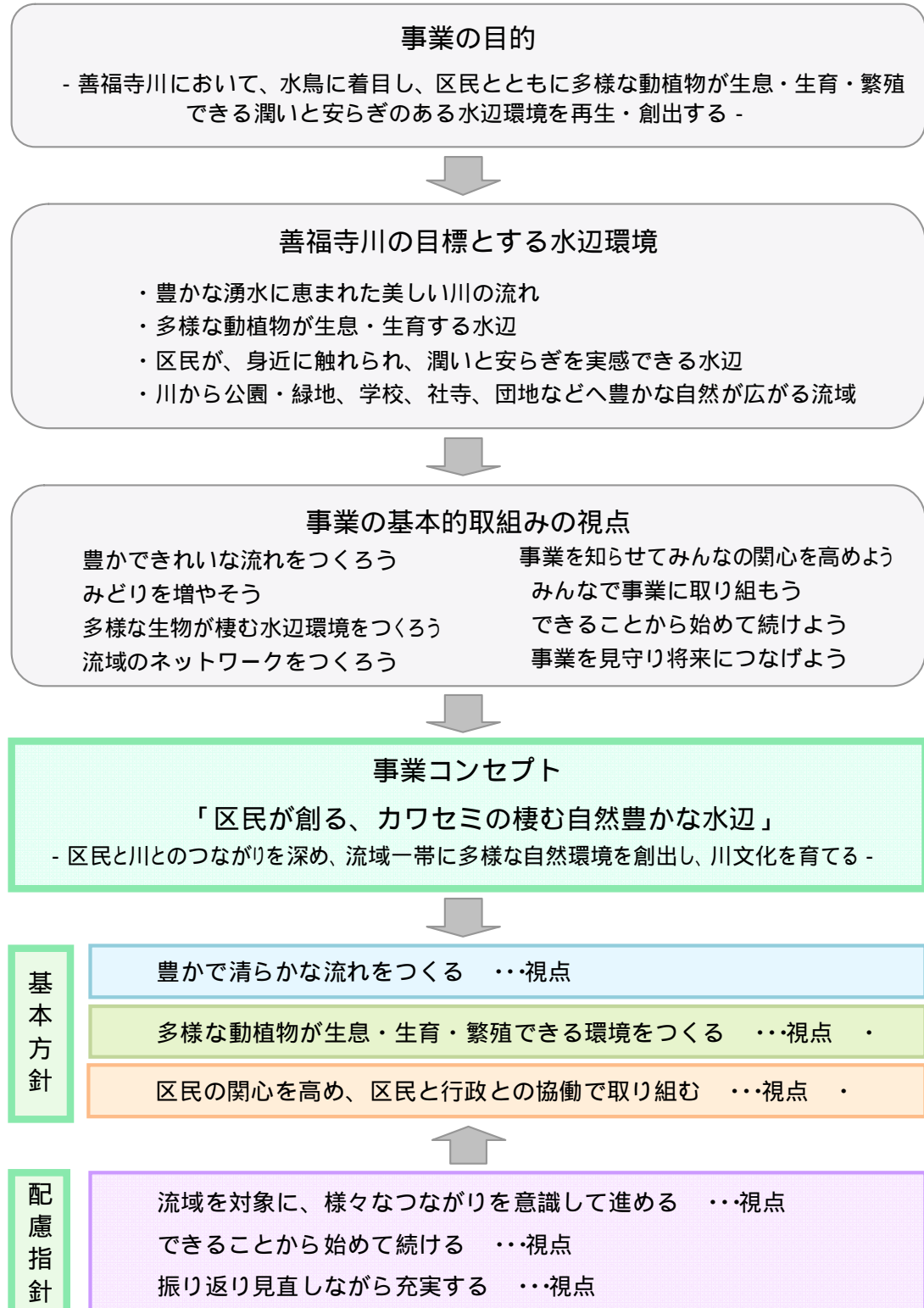


図 - 2 基本方針の構成

2) 基本方針

方針 1 . 豊かで清らかな流れをつくる

1-1 水質の保全・改善

- 東京都と連携し、水質悪化の一因である合流式下水道の改善に取り組む。
- 東京都の清流復活事業と調整しながら、豊かな流れをつくり、水質の改善を図る。
- 水域に生息・生育する動植物などによる川の自然浄化機能を高めるとともに、川の浚渫・清掃などを区民の協力を得ながら推進する。

1-2 地下水・湧水の保全・回復

- 湧水地の保全、環境整備に取り組む。
- 区民に対し、地下水・湧水と善福寺川との関わりについて周知を図り、地下水・湧水の保全活動への参加を促す。
- 雨水の地下浸透に寄与する緑地を保全するとともに、行政及び区民による雨水浸透施設（雨水浸透ます、雨水浸透トレンチ、透水性舗装等）の設置を推進する。

1-3 多様な水辺景観の創出・育成

- 「遅乃井」や「御供米橋下流の湧水」などの歴史・文化的景観、公園・緑地と一体となった緑豊かな景観、生き物とふれあえる水辺、住宅地や商店街と調和した景観など、多様で魅力的な水辺景観を保全・育成する。
- 善福寺川の自然地形に沿って蛇行した流路は、魅力的な シークエンス景観の基盤として保全していく。

シークエンスとは移動することで、変化する景色を意味します

方針 - 2 . 多様な動植物が生息・生育・繁殖できる環境をつくる

2-1 多様な水辺環境の保全・創出

- 東京都と連携し、自然豊かな水辺環境に配慮した河川改修を進める。川の瀬、淵、ヨシ原、池、水田などの多様な水辺環境を善福寺川の河床、湧水地点、周辺の公園・緑地、学校ビオトープの池などを対象に創出する。

2-2 流域の緑の保全・創出

- 流域の樹林や農地などを保全する。
- 善福寺池及び和田堀公園内の池に見られる湿生草地や湿生林などの水辺の植物群落を保全する。
- 流域の公園・緑地の整備、学校ビオトープの充実、その他の公共施設の緑化を進める。
- 流域の団地や社寺、住宅地などの民有地において既存の緑を保全するとともに、緑化を推進する。

2-3 身近な生き物の生息環境の保全・創出

- かつて善福寺川で見られたムサシトミヨ、メダカ、ヘイケボタルなどが生息できる環境を回復する。
- 魚が避難できる場所や遡上できる構造に配慮した「魚が棲める川づくり」を進める。
- バードサンクチュアリの設置など野鳥の生息に配慮した流域の環境整備を進める。

方針 - 3 . 区民の関心を高め、区民と行政との協働で取り組む

3-1 事業についての普及啓発の推進

- 善福寺川や本事業について区民へ広く周知・普及啓発し、関心を高める。周知・普及啓発のツールとしては、区報やホームページ、パンフレット等様々な媒体の利用と充実を図る。
- 普及啓発活動では、カワセミやムサシトミヨなど区民が親しみやすい生き物をシンボルに活用する。
- 手軽に善福寺川や本事業に関連する知識を得られる説明板や案内マップなどを整える。

3-2 区民参加による活動の推進

- 地域活動や環境活動、生涯学習など多様な機会を利用して、区民の善福寺川に関する活動を展開する。
- 善福寺川や自然環境の保全・再生・創出、情報の収集・発信などに関する地域の人的資源を発掘し、取組みを牽引する人材を育成する。
- 善福寺川に関する活動を行う区民に対しては、活動に必要な拠点の整備や活動場所の確保、関係機関との調整、技術情報の提供などの支援を行う。

3-3 将来を担う子供たちが参加できる取組みを推進

- 小学校と連携した総合学習や児童館による地域活動の充実、親子自然教室の開催など、子供が善福寺川に親しめる機会を増やしていく。
- 子供が、善福寺川の自然について「見る・知る」から「探す・遊ぶ」、「調べる・考える」へ関心を高めていけるような体験プログラムをつくる。

3) 配慮指針

配慮指針 - 1 . 流域を対象に、様々なつながりを意識して進める

善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業を進めるにあたっては、善福寺川の流域全体のつながりを意識し、川から周辺地域にわたる水と緑のネットワーク形成を図る。また、善福寺川に関わる区民、事業者、専門家、行政等の関係主体間のネットワークを形成し、協力して事業に取り組む。

水と緑のネットワーク形成

- 善福寺川と周辺地域の公園・緑地を骨格として、学校ピオトープや公共施設、住宅地の緑からなる水と緑のネットワークを形成する。
- 善福寺川周辺地域の雨水浸透を推進し、地下水の涵養や湧水の保全を図る。
- 善福寺川と周辺地域の緑を街路樹や生垣でつなぐとともに、緑量を増加し、緑と一体となった水辺を創出するなど、水と緑の連続性を強化する。

善福寺川に関する活動団体と都区との連携強化

- 善福寺川に関する事業や活動を実施しているボランティアや NPO 団体などと都区とのネットワークづくりに取り組む。
- 善福寺川に関わる多くの取組みにおいて、本事業の目的を共有し、相互の調整を図り、事業の相乗効果を高める。

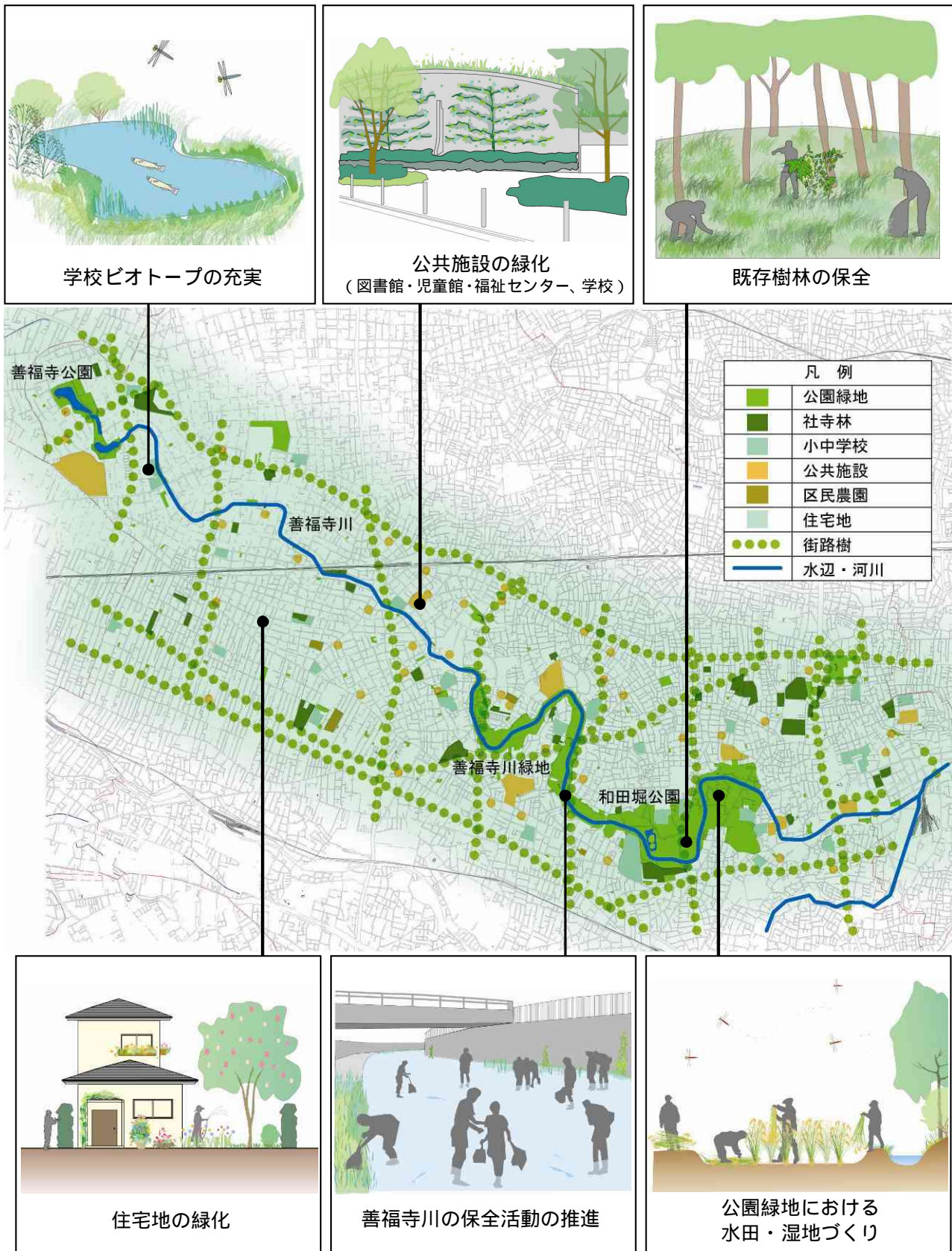


図 - 3 水と緑と人とのネットワーク形成

配慮指針 - 2 . できることから始めて続ける

本事業では、中長期の視点を持ちつつ、すぐにできることから取り組むこととする。例えば、区民の関心を高めるため、既存資源を活かした善福寺川に関わるイベントの開催を積極的に検討する。また、河川や公園・緑地、ピオトープ等の管理のあり方を見直し、自然環境の質を高める。これらの取組みを進める中で、自然環境の再生・創出技術や協働に関わるノウハウを蓄積していく。

普及啓発イベントの開催

- 善福寺川や自然をテーマに、観察会や勉強会、シンポジウムなど多様な内容のイベントを開催する。
- 川の生き物調査など区民参加型の調査を展開し、生き物マップづくりなど、多くの区民が興味を持って関わられるようなプログラムを作成する。

既存緑地の活用推進、管理内容の見直し

- 河川や周辺の公園・緑地等について、自然豊かな草地や樹林を育成する視点から、日常の管理内容を見直していく。
- 学校等のピオトープは、管理の仕組みづくりやピオトープ相互の連携強化を図り、生き物の生息・生育・繁殖環境としての質を高める。



小学校による川の生き物調査



川の生き物観察会



水鳥観察会



善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウム



善福寺川散策会



善福寺川づくりワークショップ



隣接緑地での植樹祭



樹林観察会



樹林管理イベント



善福寺川沿いの歴史探索会



野外コンサート



自然遊びの会

図 - 4 善福寺川に関連したイベントのイメージ

配慮指針 - 3 . 振り返り見直しながら充実する

本事業では、様々な事業や取組みが善福寺川の生物相に与える影響をモニタリングしながら、取組みの効果を検証し、事業を継続して進めていく。

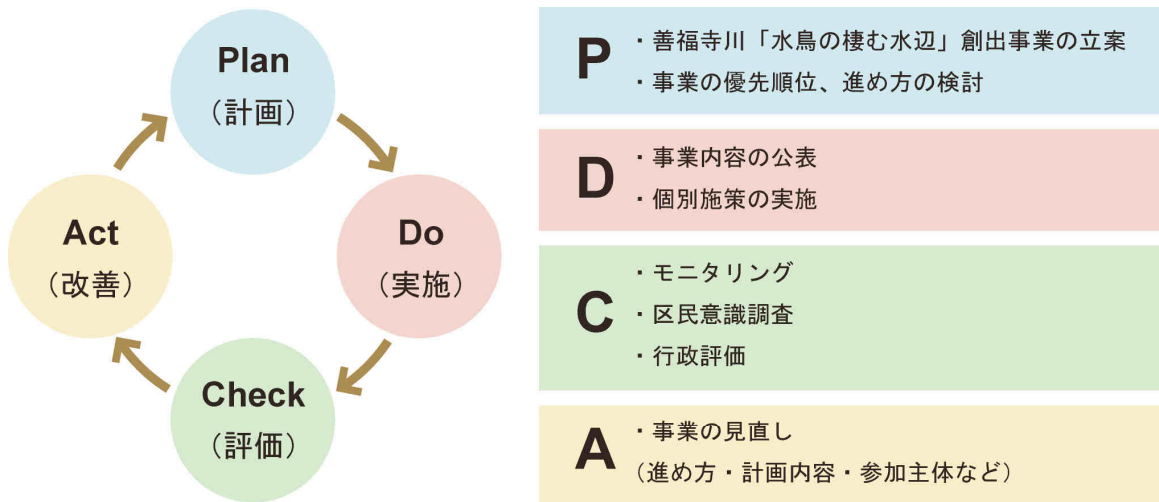
また、事業を充実していくため、善福寺川に関する情報の集積と活用を進める。

情報の集積と活用

- 善福寺川流域の生態系を明らかにするため、湧水量の変動や水質変化、周辺の植生、生き物の生息状況などの調査を継続し、データを蓄積する。
- 善福寺川の自然や本事業に関連した、区民活動に関する情報の受信・発信を活発化し、情報をそれぞれの取組みの内容や進め方などに活用する仕組みをつくる。

取組みの効果検証と事業の充実・拡大

- 本事業は、定期的に「水辺の生き物生息調査」や「水辺環境に関する区民の意識調査」を実施して取組みの効果を検証し、結果を事業へ反映する「PDCA（計画 行動 評価 改善）サイクル」に基づいて見直しを重ね、内容を充実させていく。
- 本事業が目指す、区民と行政との協働による「潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出」への取組みは、善福寺川を基点に善福寺川流域、杉並区全域へと広げていく。



Plan (計画)→Do (実行)→Check (評価)→Act (改善)のサイクルに基づき、事業を継続的に見直し発展させていく

図 - 5 PDCAサイクルによる事業の充実

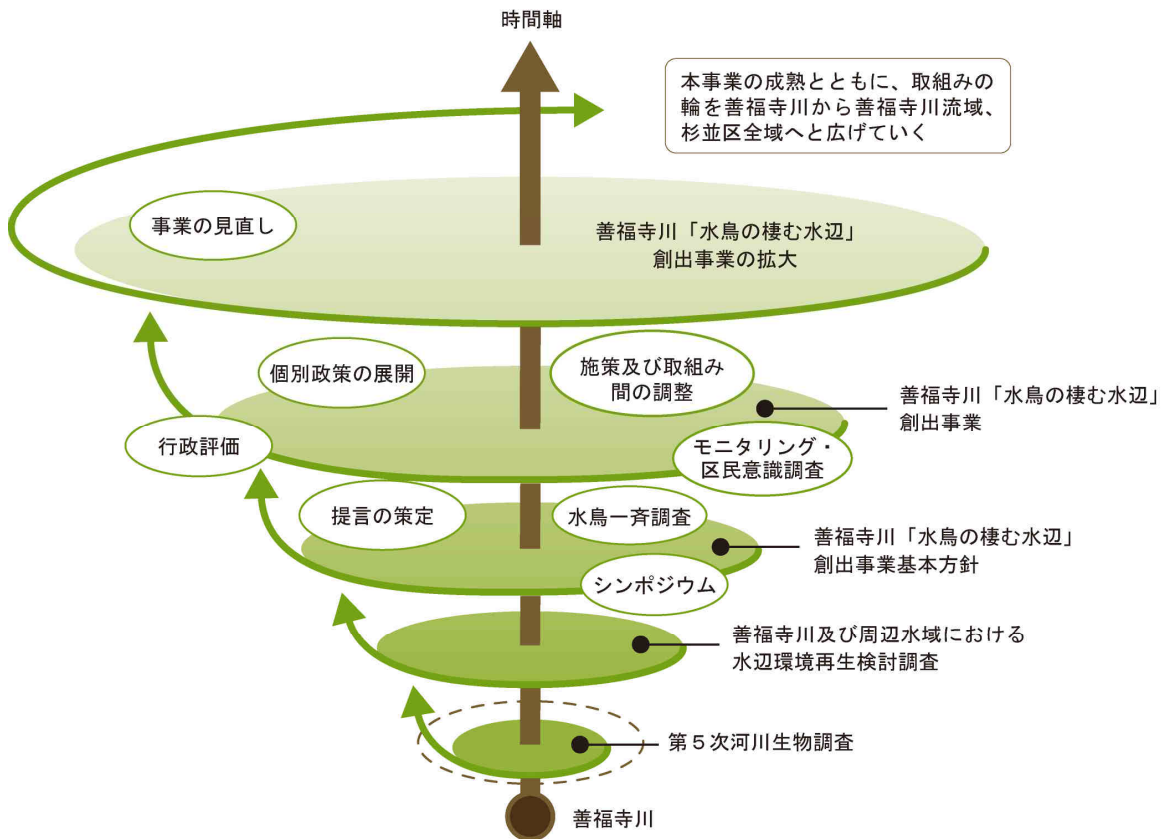


図 - 6 事業の成熟による事業区域の拡大

6章 事業推進の仕組みづくり

本事業の主役は、区民である。このため、区民、事業者、専門家、行政等の関係主体の役割を明確化しつつ、協働で進めることが重要である。

協働にあたっては、本事業の目的、善福寺川の水辺環境の再生・創出目標を共有し、取組みについての意見交換、調整を行う。将来的には、各種マネージメントができるような自立した協議会の設立を目指す。

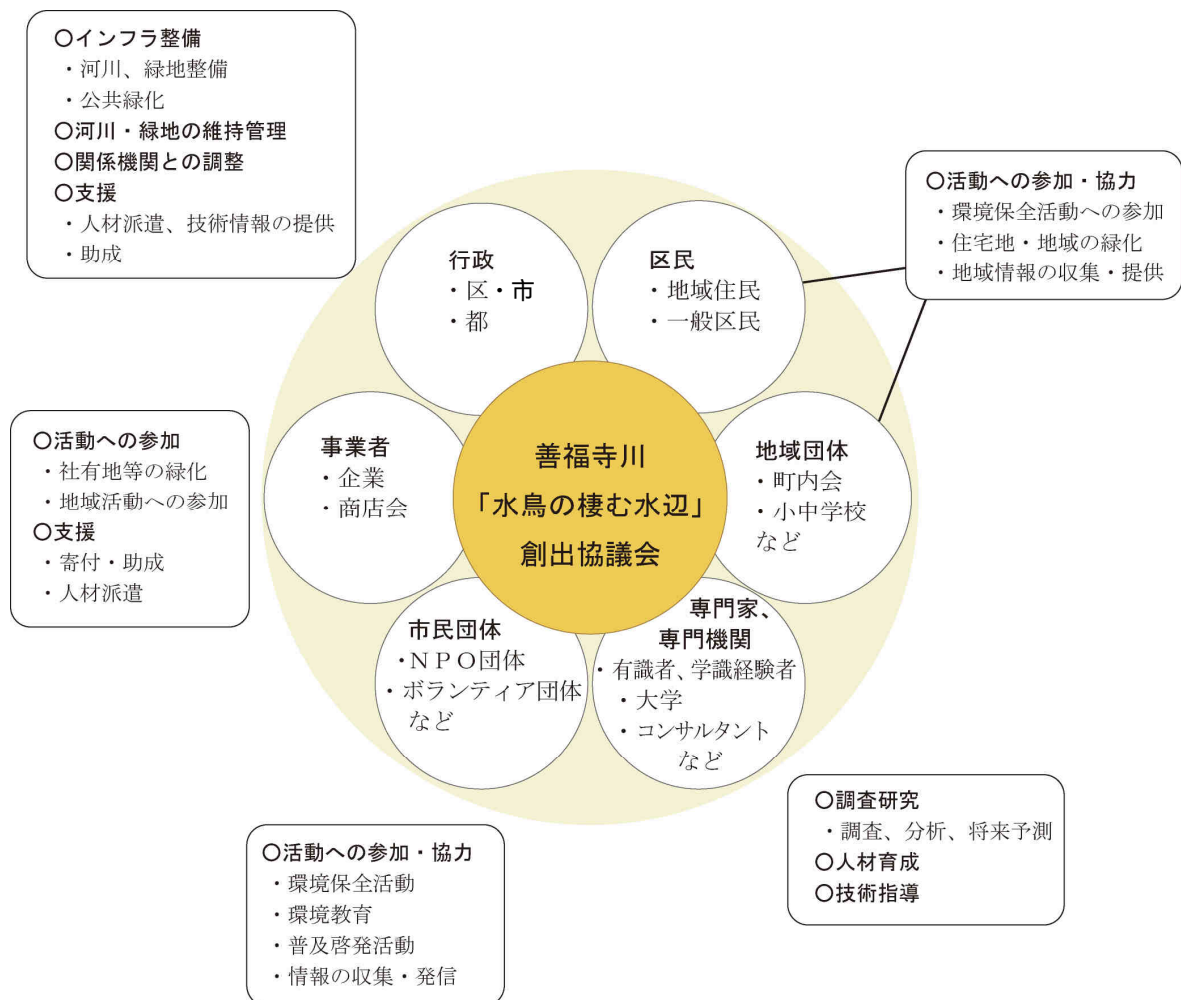


図 - 7 本事業における各主体の役割分担

資料編

資料 1

< 善福寺川の概要 >

河川名	善福寺川		水系名	神田川	級種	一級
流域面積	18.3km ²	延長	10.5km	下流端	神田川合流点	
				上流端	杉並区善福寺二丁目	

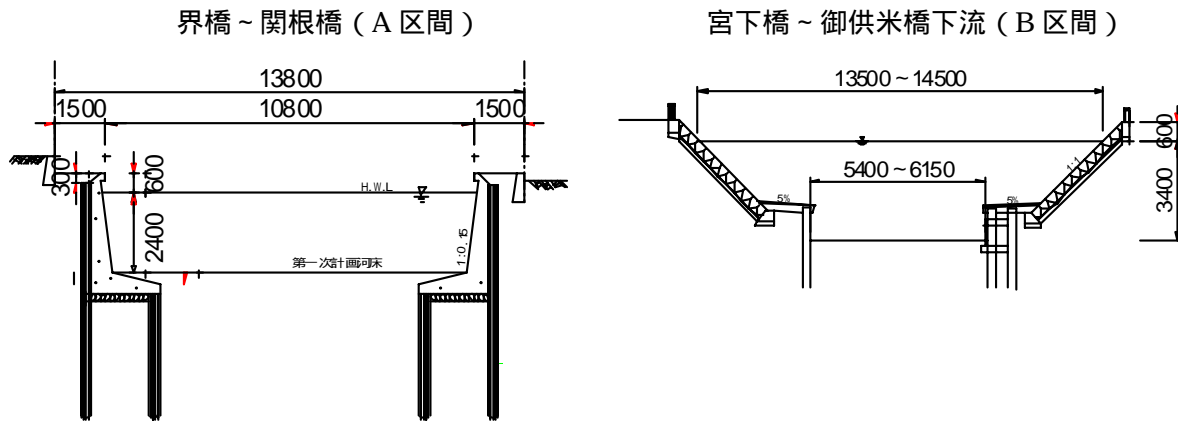


図 - 8 河川断面図



図 - 9 善福寺川の流域
国土交通省 国土数値情報を利用し作成

資料2

< 善福寺川で確認された植物 >

「杉並区自然環境調査(第5次)」の植物調査結果(調査期間平成17年4月～平成19年5月)及び「杉並区 河川の生物 第5次河川生物調査」の植物調査結果(調査期間平成16年8月及び10月)における善福寺川及び周辺で確認された植物を表-3に示した。

表-3 確認された植物(1/5)

科名	種名	文献1					文献2	科名	種名	文献1					文献2
		善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川			善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川
イワヒハ科	カダヒハ コンテリクラマコケ							(ニレ科)	ケヤキ						
トクサ科	スキサ トクサ							クワ科	ヒメコウジ クワサ イヌビロ カナムグラ ヤマクワ						
ハナヤスリ科	オオハナウラビ フコノハナウラビ ヒロハナヤスリ							イラクサ科	ヤブマオ カラムシ ミス アオミス						
アザミ科	カニクサ							クワ科	イチシク ミスヒキ キツミスヒキ ヤナキヌカホ オオイタダ イヌイタ ハナイタ ホツクイ ツルトクダミ ミチヤナキ イネトリ アシキシキシ キツキシ ヒメツルハ エゾノキツキシ キツクシの一種						
ミスワラビ科	タチノブ ホウライソウ属の一種(園芸種)							ヤマコホウ科	ヨウシュヤマコホウ						
イノモトソウ科	オオハノイノモトソウ イノモトソウ							オシロイハナ科	オシロイハナ						
チャセンソウ科	コハノヒノキシタ							スベリヒユ科	スベリヒユ						
オンタ科	オニヤブツテツ ヤブツテツ ベニソウ オオイタダ アスカイノデ アイアスカイノデ ジュウモンジソウ							ハセラン							
ヒメソウ科	ケシケシソウ ヒメワラビ ミドリヒメワラビ							ナデシコ科	ノミツツリ オランダミナグサ ツメクサ ウシハコベ コハコベ ミドリハコベ ハコベ属の一種						
メダ科	イヌワラビ シケソウ							アカザ科	シロザ ケアリタウ ユアカサ アカサ						
ウラボシ科	ノキシノブ							ヒユ科	ヒカゲイノコスチ ヒナタイノコスチ イヌビユ						
イチヨウ科	イチヨウ							モクレン科	ユリノキ ユフシ シモクレン						
マツ科	ヒマラヤスギ アカマツ クロマツ							マツ科	サネカスラ						
スキ科	スキ タテウツショウ ヌマスギ							シキミ科	シキミ						
ヒノキ科	ヒノキ サガラ コノテガシウ							ロウバイ科	ツシロロウバイ						
マキ科	イヌマキ							クスノキ科	クスノキ ヤブニッケイ ケツケイジュ ヤマコウハシ クロモジ シロタモ アブラヤシ						
イチイ科	キヤラホク カヤ							カツラ科	カツラ						
ヤマモモ科	ヤマモモ							キンポウゲ科	ニリンソウ ヒメウス						
クルミ科	オニクルミ														
ヤナギ科	シナサウグルミ シダレヤナギ ハッコヤナギ アケヤナギ														
カハノキ科	ハンノキ アカシデ イヌシデ														
ブナ科	クリ スタジイ マチバシイ クスノキ カシウ アラカシ シラカシ ウバメカシ コナラ														
ニレ科	ムクノキ エノキ アキニレ														

文献1：杉並区自然環境調査報告書(第5次)

文献2：杉並区 河川の生物 第五次河川生物調査報告書

表 - 3 確認された植物(2/5)

科名	種名	文献1					文献2	科名	種名	文献1					文献2
		善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川			善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川
(キンポウゲ科)	エンコウソウ							トヘラ科 バラ科	トヘラ						
	コホトバ								イトサクラ						
	セリハヒエンソウ								イヌサクラ						
	ウマノアシガタ								イブキシモツケ						
	キツネノホトシ								ウコン						
	ヒメユウキンカ								ウメ						
メギ科	メギ								オオシマザクラ						
	イカリソウ								オヒビイチョ						
	ホソバヒイラキナンテン								カヅイチョ						
	ヒイラキナンテン								カナメチ						
アケビ科	ナンテン								カマツカ						
	アケビ								キンミスヒキ						
ツツラフシ科 スレソク科	ミツハアケビ								クサイチョ						
	ムハ								クサホケ						
	アオツツラフシ								ココメウツキ						
トクダミ科	コウホネ								コデマリ						
	スレソク科の一種(園芸種)								サトザクラ						
センリョウ科 マダヒ科 ツバキ科	トクダミ								シャリンバイ						
	ハンゲショウ								シロヤマフキ						
	ヒトリシズカ								ソメイヨシノ						
	キウイ							タチバナモトキ							
	カンツバキ							トサシモツケ							
	ヤブツバキ							ナガハモシイチョ							
	ツバキ							ナウシロイチョ							
	サザンカ							ノイハラ							
	サカキ							ハライチョ							
	ハマヒサカキ							ヒラ							
	ヒサカキ							ヘビイチョ							
	モッコク							ホウ							
	チャノキ							ミツハツチグサ							
	ヒヨウヤナギ							モシイチョ							
	ケ科	キンシハイ							モミ						
キケマン								ヤエヤマフキ							
クサノオウ								ヤブヘビイチョ							
ムラサキケマン								ヤマザクラ							
シラユキケシ								ヤマフキ							
タケニグサ								ユキヤナギ							
ナカミヒナゲシ								トクワサンザシ属の一種							
アブラナ科	アブラナ							ヤマメ							
	イヌカキネカラシ							ハナスオウ							
	イヌカラシ							ヌスビトハキ							
	イヌナスナ							ノササゲ							
	オオハタネツケバナ							ヤマハギ							
	オランダカラシ							ネコハギ							
	カキネカラシ							イヌエンジュ							
	シヨカツサイ							クヌ							
	タネツケバナ							ハリエンジュ							
	ナスナ							エンジュ							
	ミチタネツケバナ							シロツメクサ							
	メキシコマンネングサ							ヤハスエントウ							
	マンサク科	ヒョウカミスギ							スズメノエンドウ						
		トサミスギ							フジ						
ヘンケイソウ科 ユキノシタ科	マンサク							カタハミ科	イモカタハミ						
	コモチマンネングサ								カタハミ						
	ウツキ							アカカタハミ							
	ヒメウツキ							ムラサキカタハミ							
	アジサイ							アマガフウロ							
	カクアジサイ							ケンシヨウコ							
	ヤマアジサイ							エノキグサ							
ユキノシタ							ヨシキソウ								

文献1：杉並区自然環境調査報告書(第5次)

文献2：杉並区 河川の生物 第五次河川生物調査報告書

表 - 3 確認された植物(3/5)

科名	種名	文献1					文献2	科名	種名	文献1					文献2
		善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川			善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林	善福寺川
(トウダイグサ科)	アカカシ							(アカハナ科)	アカハナ						
	コムカシ								コマツヨイグサ						
ユスリハ科	ユスリハ								ユウゲシヨウ						
ミカン科	ナツミカン							アリノコグサ科	オオフサモ						
	カラダチ							ミスギ科	アオキ						
	カラスザンショウ								ハナミスギ						
	ザンショウ								ミスギ						
ニガキ科	ニワウルシ								クマノミスギ						
	ニガキ								ザンシュウ						
センダン科	チャンチン							ウコキ科	ウド						
	センダン								タラノキ						
ウルシ科	ツタウルシ								ヤツテ						
	ヌルテ								キツタ						
	ハセノキ								ハリギリ						
	ヤマハセ							セリ科	アシタバ						
	ヤマウルシ								ミツハ						
カエデ科	トウカエデ								ノボリ						
	イタヤカエデ								フドメグサ						
	エンコウカエデ								セリ						
	イロハモミジ								ヤブニンジン						
ムクロジ科	ムクロジ							ツツジ科	トウダンツツジ						
トチノキ科	トチノキ								アセビ						
ツリフネソウ科	キツフネ								サヅキ						
モチノキ科	イヌツゲ								リュウキュウツツジ						
	モチノキ								クリシマツツジ						
	ウメトキ								クマメツツジ						
ニシキキ科	ツルウメトキ								ヤマツツジ						
	ニシキキ								オオムラサキ						
	コヤクミ								ヒラトツツジ						
	マサキ								ツツジ科の一種(園芸種)						
	ツリバナ							ヤブコウジ科	マンリョウ						
	マユミ							サクラソウ科	コナシ						
ミツバウツギ科	コンズイ							カキノキ科	カキノキ						
ツゲ科	ツゲ							エゴノキ科	エゴノキ						
	フキソウ								ハクウシホク						
ブドウ科	ノブドウ							ハイノキ科	サワフタキ						
	ヤブガラシ							モクセイ科	レンキョウ						
	エビヅル								シチレンキョウ						
	ツタ								チヨウセンレンキョウ						
アオイ科	フヨウ								トネリコ						
	ムクゲ								アオダモ						
	セニハアオイ								ネズミモチ						
アオキリ科	アオキリ								トウネズミモチ						
ジンチョウゲ科	ジンチョウゲ								イホタノキ						
グミ科	ナツグミ								ヒイラギモクセイ						
	ナワシログミ								キンモクセイ						
イイギリ科	イイギリ								ヒイラギ						
スミレ科	タチツボスミレ								ムラサキハシロイ						
	コスミレ							ミツカシロ科	アサザ						
	マルハスミレ							キョウチクトウ科	キョウチクトウ						
	スミレ								テイカカスラ						
	ニオイスミレ								ツルニチニチソウ						
	ツボスミレ							カガイモ科	カガイモ						
	アメリカスミレサイシン							アカネ科	ヤエムグラ						
ウリ科	アマチャヅル								クチナシ						
	アレチウリ								ハンカグサ						
	カラスウリ								ヘクソカスラ						
	キカラスウリ								ハクチョウゲ						
ミソハギ科	サルヘリ								ヨツハムグラ						
アカハナ科	ミスアマソウ							ヒルカオ科	ヒルカオ						

文献1：杉並区自然環境調査報告書(第5次)

文献2：杉並区 河川の生物 第五次河川生物調査報告書

表 - 3 確認された植物(5/5)

科名	種名	文献1					文献2	科名	種名	文献1					文献2
		善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	済美山雑木林				善福寺川	善福寺公園	善福寺川緑地	和田堀公園	大宮八幡	
(ユリ科)	ノラン							(イネ科)	スカキビ						
	シヤノヒゲ								オオクサキビ						
	ナカハシヤノヒゲ								シマスズメノヒエ						
	オオハシヤノヒゲ								チカラシバ						
	アマトコロ								クサヨシ						
	キチジョウソウ								ヨシ						
	オモト								モウソウチク						
	ナキイカダ								アズマネザサ						
	サルトリイバラ								スズメノカタビラ						
	シオデ								イチゴツナギ						
	ヤマカシウ								クマザサ						
	タイワンホトキス								エノコログサ						
	ヒメヤブラン								オカメザサ						
	ハタケニラ								セイハンモロコシ						
	ヒカンバナ科	ヒカンバナ								マコモ					
スイセン								トクシバ							
ヤマノイモ科	ヤマノイモ							コスメカヤ							
	ヒメトコロ							サヤスグサ							
	オトコロ							ケチチミザサ							
ミスアオイ科	ホテイアオイ							キビ							
アヤメ科	ハナショウブ							スズメノヒエ							
	シヤガ							アキノエノコログサ							
	カキツバタ							ムラサキエノコ							
	キショウブ							ムラサキネズミノ							
	ニワセキショウ							シハ							
イグサ科	ヒメヒオオキスイセン							コウライシバ							
	イ							ヤシ科	シュロ						
ツククサ科	クサイ							サトイモ科	セキショウ						
	ツククサ							ムサシアブミ							
	ヤブミョウガ							カラスビシャク							
イネ科	ノハカタカラクサ							ウキクサ科	アオリキクサ						
	カモシクサ								ミクリ科	ナガエミクリ					
	アオカモシクサ							ミクリ属の一種							
	ノハラスズメノテッポウ							カマ科	カマ						
	アリケンカルカヤ								カマ属の一種						
	コブナグサ							カヤツリクサ科	アオスケ						
	コハシソウ								マスクサ						
	イヌムギ								シュススケ						
	ノカリヤス								ヒカゲスケ						
	ジュスダマ								チキリスケ						
	カモガヤ								ゴウソ						
	メシバ								ヒメク						
	コメシバ								タマカヤツリ						
	アキメシバ								アリケンカヤツリ						
	イヌビエ								マツハイ						
オシバ							フトイ								
カセクサ							カヤツリクサ								
ムキクサ							カワラスガ子								
チカヤ							サンカクイ								
ネズミムギ							スケ属の一種								
ヒメアシボリ							ラン科	シラン							
アジボソ								エビネ							
ササガヤ								キンラン							
オキ								キンラン							
ススキ								シュンラン							
チチミザサ							ネシバナ								

文献1：杉並区自然環境調査報告書(第5次)

文献2：杉並区 河川の生物 第五次河川生物調査報告書

資料3

< 善福寺川で確認された鳥類 >

「杉並区自然環境調査(第5次)」のルートセンサス調査結果(調査期間平成18年4月～平成19年3月)における善福寺川及び周辺で確認された鳥類を表-4に示した。

表-4 確認された鳥類

科名	種名	和名			科名	種名	和名		
		和名	和名	和名			和名	和名	和名
カイツブリ	カイツブリ				(セキレイ)	ハクセキレイ			
ウ	カワウ					セグロセキレイ			
サギ	ゴイサギ				ヒヨドリ	ヒヨドリ			
	ダイサギ				ツグミ	ジョウビタキ			
	チュウサギ					アカハラ			
	コサギ					シロハラ			
	アオサギ					ツグミ			
カモ	オンドリ				ウグイス	ウグイス			
	マガモ					ムシクイ類			
	カルガモ				エナガ	エナガ			
	コガモ				シジュウカラ	ヤマガラ			
	オナガガモ					シジュウカラ			
	キンクロハジロ				メジロ	メジロ			
	スズガモ				ホオジロ	アオジ			
タカ	オオタカ				アトリ	カワラヒワ			
ハヤブサ	チョウゲンボウ					シメ			
クイナ	バン				ハタオリドリ	スズメ			
ハト	キジバト				ムクドリ	ムクドリ			
カワセミ	カワセミ				カラス	オナガ			
キツツキ	コゲラ					ハシボソガラス			
ツバメ	ツバメ					ハシブトガラス			
セキレイ	キセキレイ								

資料4

< 善福寺川で確認されたトンボ類 >

「杉並区自然環境調査(第5次)」の昆虫類調査結果(調査期間平成14年～平成19年5月)における善福寺川及び周辺で確認されたトンボ類を表-5に示した。

表-5 確認されたトンボ類

科名	種名	科名	種名
イトトンボ	クロイトトンボ	エゾトンボ	オオヤマトンボ
	キイトトンボ	トンボ	ショウジョウトンボ
	アジアイトトンボ		シオカラトンボ
	アオモンイトトンボ		シオヤトンボ
モノサシトンボ	モノサシトンボ		オオシオカラトンボ
アオイトトンボ	ホソミオツネントンボ		ウスバキトンボ
	アオイトトンボ		コシアキトンボ
	オオアオイトトンボ		チョウトンボ
カワトンボ	ハグロトンボ		コノシメトンボ
サナエトンボ	ウチワヤンマ		ナツアカネ
	オナガサナエ		アキアカネ
オニヤンマ	オニヤンマ		ノシメトンボ
ヤンマ	クロスジギンヤンマ		マイコアカネ
	ギンヤンマ		ミヤマアカネ
	ヤブヤンマ		

資料5

< 善福寺川で確認されたバッタ類 >

「杉並区自然環境調査(第5次)」の昆虫類調査結果(調査期間平成14年1月～平成19年5月)における善福寺川及び周辺で確認されたバッタ類を表-6に示した。

表-6 確認されたバッタ類

科名	種名	科名	種名
コオロギ	ハラオカメコオロギ	(キリギリス)	ヤブキリ
	ミツカドコオロギ		クビキリギス
	シバズ		クサキリ
	マダラスズ		カヤキリ
	エンマコオロギ		ハヤシノウマオイ
	ツツレサセコオロギ		ハタケノウマオイ
クサヒバリ	キンヒバリ	オンブバッタ	オンブバッタ
	クサヒバリ	バッタ	ショウリョウバッタ
マツムシ	アオマツムシ		トノサマバッタ
カネタタキ	カネタタキ		クルマバッタモドキ
カンタン	カンタン		コバネイナゴ
キリギリス	セスジツユムシ	ハラヒシバッタ	
	サトクダマキモドキ		

資料6

< 善福寺川で確認されたチョウ類 >

「杉並区自然環境調査(第5次)」の昆虫類調査結果(調査期間平成14年1月～平成19年5月)における善福寺川及び周辺で確認されたチョウ類を表-7に示した。

表-7 確認されたチョウ類

科名	種名	科名	種名
セセリチョウ	ダイミョウセセリ	(シジミチョウ)	ベニシジミ
	イチモンジセセリ		ムラサキツバメ
	チャバネセセリ		ムラサキシジミ
	キマダラセセリ		トラフシジミ
アゲハチョウ	ジャコウアゲハ		ヤマトシジミ
	アオスジアゲハ		ウラギンシジミ
	カラスアゲハ		テングチョウ
	モンキアゲハ	タテハチョウ	コムラサキ
	キアゲハ		ミドリヒョウモン
	ナガサキアゲハ		ツマグロヒョウモン
	クロアゲハ		ヒメアカタテハ
	ナミアゲハ		ウラギンヒョウモン
シロチョウ	ツマキチョウ		ゴマダラチョウ
	モンキチョウ		ルリタテハ
	キチョウ	コムスジ	
	スジグロシロチョウ	ヒオドシチョウ	
	モンシロチョウ	キタテハ	
シジミチョウ	ルリシジミ	アカタテハ	
	ツバメシジミ	ジャノメチョウ	ヒカゲチョウ
	アカシジミ		コジャノメ
	ウラナミシジミ		ヒメジャノメ
	ベニシジミ		サトキマダラヒカゲ
	ムラサキツバメ		ヒメウラナミジャノメ

資料 7

< 善福寺川で確認された魚類 >

「杉並区 河川の生物 第5次河川生物調査」の魚類調査結果(調査期間平成16年8月及び10月)において、善福寺川及び周辺で確認された魚類を表-8に示した。

表 - 8 確認された魚類

科	種名
コイ	コイ
	ギンブナ
	オイカワ
	ヌマムツ
	モツゴ
	タモロコ
ドジョウ	ドジョウ
メダカ	ヒメダカ
サンフィッシュ	ブルーギル
ハゼ	ウキゴリ
	トウヨシノボリ

資料 8

< 善福寺川の水質 >

「善福寺川定期河川水質調査」から、過去5年間の水質調査結果を図 - 10、図 - 11 及び表 - 9 に示した。調査は、井荻橋、堀ノ内橋（資料1・図 - 9 参照）の2地点で年4回実施している。

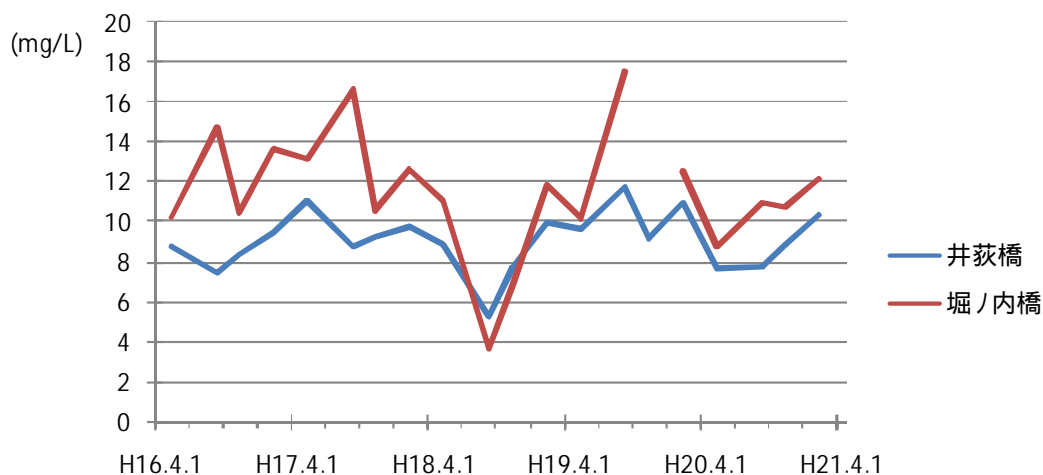


図 - 10 善福寺川 DOの経年変化

DO（溶存酸素量）： 水中に溶け込んでいる酸素の量。汚染の度合いが高い河川は、汚染を分解する微生物などによって水中の酸素が消費され、溶け込んでいる酸素の量が少なくなる。汚染に比較的強いと言われるコイやフナ等でも、5 mg / ℓ以上必要とされる。

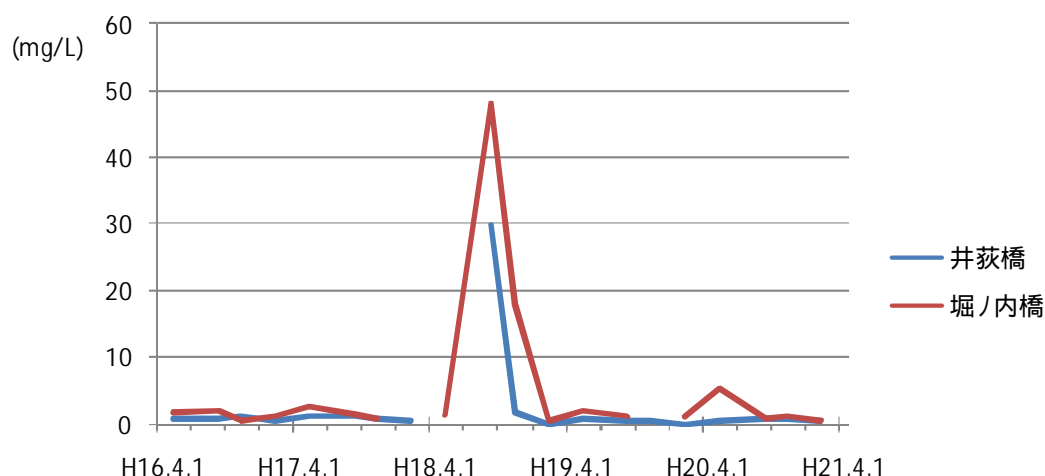


図 - 11 善福寺川 BODの経年変化

BOD（生物化学的酸素要求量）： 水中の汚染物質が微生物によって分解される際に必要とされる酸素量をもって表したもの。BODが高くなれば、水中の溶存酸素は減少し水生生物に悪影響を与える。一般的に人的汚染の無いきれいな河川のBODは1 mg / ℓ以下である。

平成 16 年度河川水質調査結果

採水地点	採水月日	水温	透視度	pH	DO	BOD	COD	SS	MBAS	NH4-N	T-N	PO4-P	T-P	Cl-
			cm											
井荻橋	5月13日	17.5	87	6.7	8.8	0.9	2.7	3	<0.05	<0.1	5.8	0.05	0.09	22
	9月9日	21.2	95	6.6	7.5	1	3.1	3	<0.05	<0.1	6.9	0.1	0.12	26
	11月11日	16.3	>100	6.4	8.4	1.1	2.2	3	<0.05	<0.1	8.5	0.06	0.09	23
	2月9日	13.2	>100	6.5	9.5	0.5	1.9	2	<0.05	0.1	8.5	0.05	0.09	24
堀ノ内橋	5月13日	20.2	57	7.7	10.3	2	5.2	6	<0.05	<0.1	5.3	0.01	0.07	19
	9月9日	26.4	>100	8.9	14.7	2.1	4.1	1	<0.05	<0.1	5	0.04	0.07	21
	11月11日	16.4	>100	7.5	10.5	0.8	1.7	2	<0.05	<0.1	7.4	0.02	0.05	21
	2月9日	9.4	>100	8	13.6	1.2	1.7	1	<0.05	<0.1	8	0.01	0.02	21

平成 17 年度河川水質調査結果

採水地点	採水月日	水温	透視度	pH	DO	BOD	COD	SS	MBAS	NH4-N	T-N	PO4-P	T-P	Cl-
			cm											
井荻橋	5月19日	19.3	>100	6.6	11.1	1.1	2.5	1	<0.05	<0.1	6.2	0.01	0.02	14
	9月15日	19.3	>100	6.6	8.8	1.1	1.7	2	<0.05	<0.1	7.1	<0.01	0.04	15
	11月10日	16.4	>100	6.5	9.3	0.9	0.7	2	<0.05	<0.1	7.7	0.01	0.02	15
	2月9日	11.3	100	6	9.8	0.7	3.6	3	<0.05	<0.1	8.8	0.05	0.06	37
堀ノ内橋	5月19日	22.8	>100	8.5	13.1	2.8	8.8	4	<0.05	<0.1	5.4	<0.01	0.04	16
	9月15日	22.5	>100	9.4	16.6	1.6	3.6	3	<0.05	<0.1	6.4	<0.01	0.02	15
	11月10日	14.1	>100	7.6	10.6	1.1	1.5	1	<0.05	<0.1	6.9	0.01	0.02	16
	2月9日	7.8	>100	7.9	12.6	欠測	3.7	1	<0.05	<0.1	5.8	<0.01	0.02	24

平成 18 年度河川水質調査結果

採水地点	採水月日	水温	透視度	pH	DO	BOD	COD	SS	MBAS	NH4-N	T-N	PO4-P	T-P	Cl-
			cm											
井荻橋	5月11日	18	>100	6.9	8.9	欠測	5	1	<0.05	<0.1	8.3	<0.01	0.04	26
	9月14日	19.7	10	7.2	5.3	30	30	48	0.34	1.1	5.9	0.23	0.72	9
	11月16日	15.4	69	6.5	7.8	1.9	2.7	4	<0.05	<0.1	7.1	0.07	0.10	28
	2月1日	14.1	>100	6.7	10.0	<0.5	2.1	1	<0.05	<0.1	6.7	0.03	0.03	24
堀ノ内橋	5月11日	21.2	>100	8.2	11	1.5	3.5	4	<0.05	<0.1	6.7	0.02	0.04	22
	9月14日	20	15	7	3.7	48	24	53	0.27	1.6	5.9	0.31	0.53	12
	11月16日	13.8	18	7.1	6.9	18	13	11	0.18	1.7	6.2	0.10	0.30	15
	2月1日	11.0	40	7.7	11.8	0.7	2.2	12	<0.05	<0.1	6.9	<0.01	<0.01	20

平成 19 年度河川水質調査結果

採水地点	採水月日	水温	透視度	pH	DO	BOD	COD	SS	MBAS	NH4-N	T-N	PO4-P	T-P	Cl-
			cm											
井荻橋	5月24日	18.9	>100	6.7	9.7	1.0	2.7	1	<0.05	0.1	6.4	0.04	0.07	25
	9月20日	19.6	>100	6.8	11.8	0.6	0.5	1	<0.05	<0.1	5.5	0.01	0.03	18
	11月8日	16.0	>100	6.5	9.2	0.7	1.4	1	<0.05	<0.1	6.9	0.02	0.04	20
	2月7日	12.0	>100	7.1	11.0	<0.5	2.4	1	<0.05	<0.1	6.0	0.03	0.05	27
堀ノ内橋	5月24日	24.4	72	8.3	10.2	2.3	3.7	4	<0.05	0.1	5.6	0.03	0.06	20
	9月20日	23.8	84	9.7	17.5	1.3	2.0	4	<0.05	<0.1	5.4	<0.01	0.01	18
	11月8日	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
	2月7日	7.8	58	7.9	12.5	1.3	2.8	23	<0.05	<0.1	5.9	0.01	0.01	19

平成 20 年度河川水質調査結果

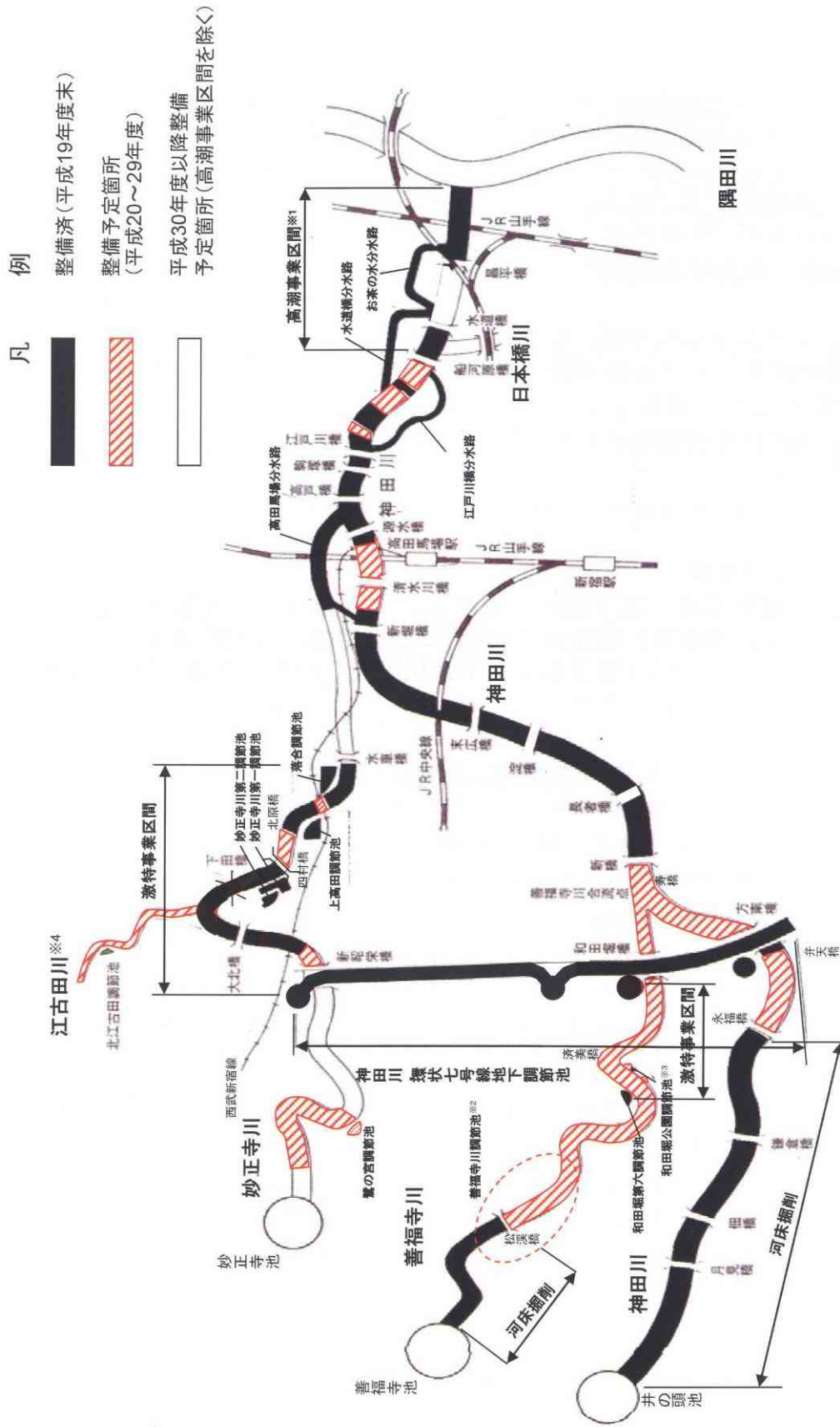
採水地点	採水月日	水温	透視度	pH	DO	BOD	COD	SS	MBAS	NH4-N	T-N	PO4-P	T-P	Cl-
			cm											
井荻橋	5月22日	18.5	>100	6.9	7.7	0.6	2.0	2	<0.05	<0.1	6.8	0.05	0.07	20
	9月4日	19.8	>100	6.2	7.8	0.8	1.2	1	<0.05	<0.1	7.4	0.06	0.07	19
	11月13日	15.9	>100	6.4	8.9	0.9	2.3	2	<0.05	<0.1	7.4	0.06	0.07	19
	2月12日	13.4	>100	6.6	10.4	0.6	2.1	2	<0.05	<0.1	9.1	0.08	0.08	25
堀ノ内橋	5月22日	20.6	16	7.2	8.8	5.5	11	70	<0.05	0.1	7.3	0.06	0.19	18
	9月4日	21.8	>100	6.7	10.9	1.1	1.7	4	<0.05	<0.1	6.4	0.01	0.03	17
	11月13日	14.1	70	7.3	10.7	1.3	1.5	4	<0.05	<0.1	6.6	0.03	0.03	15
	2月12日	9.9	>100	7.5	12.1	0.7	1.5	2	<0.05	<0.1	6.9	0.02	0.02	19

表 - 9 善福寺川河川定期水質調査結果 (平成 16 ~ 20 年度)

生活環境の保全に関する環境基準は、水素イオン濃度 (pH) が 6.5 以上 8.5 以下、生物化学的酸素要求量 (BOD) が 5mg/l 以下、浮遊物質 (SS) が 50mg/l 以下、溶存酸素量 (DO) が 5mg/l 以上となっている。

調査項目の概要

調査項目	説明	測定方法
透視度	水中の浮遊物質やコロイド状物質などによる濁りの程度を示す指標。見える水深1cmを1度とする。	JIS K0102 - 9
水素イオン濃度(pH)	pHが7の時は中性で、それより大きい時はアルカリ性、小さい時は酸性。	JIS K0102 - 12.1
溶存酸素(DO)	水中に溶け込んでいる酸素の量。水域での自浄作用、魚類などの生活に不可欠。	JIS K0102 - 32.1
生物化学的酸素要求量(BOD)	水中に存在する有機物が微生物によって安定化するために消費される酸素量。	JIS K0102 - 21
化学的酸素要求量(COD)	水中の被酸化性物質を酸化するのに必要な酸素量。有機性汚濁の指標。	JIS K0102 - 17
浮遊物質(SS)	水中に浮遊又は懸濁している粒子状物質。	JIS K0102 - 14.1
メチレンブルー活性物質(MBAS)	河川水中に陰イオン界面活性剤濃度を示す項目で、メチレンブルー活性物質という。	JIS K0102 - 30.1
アンモニア性窒素(NH ₄ - N)	し尿や家庭下水中の有機物の分解や工場排水が起因する。水質汚染の有力な指標。	JIS K0102 - 42.2
全窒素(T - N)	有機性窒素と無機性窒素の合計。富栄養化の目安になる。	JIS K0102 - 45.2
リン酸性リン(PO ₄ - P)	家庭排水、し尿、工場排水、肥料など人為的な汚染が原因。通常の下水处理では残ってしまう。	JIS K0102 - 46.1
全リン(T - P)	無機性リンと有機性リンの合計。富栄養化の目安になる。	JIS K0102 - 46.3
塩化物イオン(Cl ⁻)	家庭排水、し尿、工場排水等の混入など人為的汚染の有無を判断する指標。	上水試験方法



- 凡 例
- 整備済(平成19年度末)
 - ▨ 整備予定箇所(平成20~29年度)
 - 平成30年度以降整備予定箇所(高湖事業区間を除く)

出典：都建設局

神田川水系整備計画概要図

- ※1 高湖事業区間については、高潮防潮堤の整備及び計画河床への掘削を行う。
- ※2 善福寺川調節池の設置箇所は関係機関と調整中
- ※3 和田堀調節池は、現在の和田堀第二、第三調節池を統合
- ※4 江古田川は、整備手法の検討を行い事業に着手する。

